

2006年8月1日

緑内障・高眼圧症治療剤 DE-085(タフルプロスト)の製造販売承認を申請

参天製薬株式会社は、緑内障・高眼圧症治療剤 DE-085(一般名:タフルプロスト)について、2006年7月31日付で国内における製造販売承認の申請を行いましたのでお知らせします。

DE-085 は、原薬の製造を旭硝子株式会社(東京都千代田区)が行い、当社が製剤化し、開発を行ったプロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤です。緑内障は、眼圧の上昇などによって視神経が傷害され、視野欠損や失明を引き起こす病気であり、眼圧上昇の原因の一つとして、目の中で産生される房水の流出が妨げられることが考えられています。DE-085 は、ぶどう膜・強膜流出路からの房水流出を促進し、強力で安定した眼圧下降作用を示すことが、国内で実施した臨床第 Ⅲ 相試験で確認されています。また、重篤な副作用は、眼局所・全身ともに認められていません。

緑内障は、眼疾患による視覚障害(視力低下、失明)の主な原因となっていますが、潜在的な患者さんが多いと推察されており、早期発見および早期治療が今後ますます課題となっていきます。参天製薬では、現在数種類の緑内障治療剤を既に販売しており、今後 DE-085 が製品ラインナップに加わることで、より多くの治療の選択肢を医療の現場に提供でき、患者さんの QOL(生活の質)向上に貢献できることを期待しています。

< 概要 >

開発コード	DE-085
一般名	タフルプロスト
剤型	水性点眼剤
申請時の効能・効果	緑内障、高眼圧症
申請時の用法・用量	1回1滴、1日1回点眼する
保存方法	室温保存

以上